

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 負傷事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット事例
2. 体験した事例の名称	普通車（公用車）での高速道走行中におけるタイヤ破損（バースト）の発生
3. 体験した事例の中心的要素	会議終了後、普通車（公用車：乗車3名）にて高速道路を使用し帰署中であった。前方を走行中の車両に近づいたため、時速60km位に減速し走行中であった。その時、車両右前方付近からタイヤがパンクした様な音が鳴り、同時にハンドルが右方向にとられた。その為、待避所に緊急停止した。現場は、片側一車線の高速道で待避所における作業は危険であるため、一名は後続車の見張りを実施しスペアタイヤに早急に交換を実施する。交換終了後、制限時速内の安全速度にて帰署する。
4. 体験した事例の原因・理由	翌日、修理工場に見てもらうとタイヤ本体には異常は無く、ホイールバルブの劣化によるバーストと判明する。ホイールバルブは、10年を中途に交換した方が良いとのことでした。

【体験した事例の直接的原因について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 体験した事例の直接的な原因

【体験した事例について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 発生日時	平成 18 年 6 月 30 日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：片側一車線の高速道路
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	交通事故、
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：片側一車線の高速道路を走行中に発生
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[33]歳、 勤続年数[11]年、 現場経験年数[11] 年、 階級[士長]、 同様の活動 []、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	高速道を走行中に右前輪タイヤがバーストする	
経過 2			
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots arranged in a single row.

○負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・ 活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	はい
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狹隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かつた（寒かつた）。	いいえ
・ 野次馬が多かつた。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躊躇したり滑りやすかつた。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・ 活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であつた。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

はい：タイヤのホイールバルブの劣化
